

群馬県繊維工業試験場の機能充実並びに 敷地内の再整備・有効活用について（継続）

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の公的施設として群馬県民の誇りであり、群馬県の繊維業界を全面的にサポートする様々な施策を積極的に展開している機関であります。また全国唯一の繊維専門の公共試験研究機関が、1300年の歴史を誇る織都・桐生に設置されている意義は大変大きく、繊維業者の課題解決に大きな支援をいただいております。

繊維業界では閉塞的な状況が続いておりますが、こうした状況を打破し、桐生市の繊維関連企業が国内市場を拡大し、海外市場を取込むためには、革新的技術による新たな価値の創出や、地域のブランド化が必要となります。

この課題の解決のためにも同試験場の存在意義は年々高められておりますので、引き続いで最新の機器導入による設備の整備、研究員等の人員配置拡充など、更なる機能充実を図るための積極的かつ充実した支援体制が取られるよう、群馬県に呼びかけていただくことを切望いたします。

また、敷地内には、昭和37年に開設された群馬地方発明センターの建物が残存しておりますが、その役割を終えた現在は廃墟化し、周辺の景観をも損ねております。

つきましては、これら施設を取り壊すなどの再整備、今後の有効活用についても是非ともご検討いただきますよう、併せて要望いたします。

桐生市からの回答

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の繊維に特化した公設試験場であり、繊維関連の中小企業が多い本市にとって、極めて重要な施設であると認識しております。市ではこれまでも、同試験場と市内繊維関連企業との連携推進を図りながら、共同研究開発や技術指導、人材養成等の取組に対して支援を行ってきたところであり、こうした取組が同試験場の存在意義を高める効果もあると考えております。

同試験場では近年、産学官連携や異業種交流の促進を目的に「オープンイノベーション」の拠点となる施設整備を行ったほか、「クリーンルーム」や「人工気象室」などの整備により、医療・介護分野や環境分野等への対応力を強化する等、次世代産業や他分野への進出を目指す企業等への支援機能強化を図っております。市といたしましては、引き続き同試験場と繊維関連企業との連携を推進し、市内繊維産業の振興を図るとともに、群馬県に対して同試験場の機能維持・強化等についても要望してまいりたいと考えております。

なお、敷地内の未利用施設については、老朽化が進んでいることから、取り壊しや跡地活用に関する検討等を進めているところですが、県と市の施設が混在し、それぞれに多数の保管物等があることから、処分・活用方法等についても入念な協議・検討が必要となっております。現在、市が所有する施設を倉庫として利用している各部署に対して、本年度末を目安に保管品の移動を依頼しているほか、県の所管部署との協議も開始したところであり、今後も引き続き、取組を進めてまいりたいと考えております。

[回答担当] 産業経済部商工振興課工業労政担当